

# 遠足について

## こう思う

特集



(先生)

### 土屋眞砂子

遠足や散歩に出かけて、自然界の美しさや、豊さ偉大さを観察させたり、駅や郵便局商店街等人事界を見学させると同時に、社会生活を広く体験させるということは、幼児教育に於て園内の充実した保育と相並らんで重要視されていることであります。

外に出かけるということは、幼児の身体状況や天候等色々の条件に制約されますしまた自然や社会事象の移り変りが非常に速いため、周到な計画と心まめな実行力が無いとその効果を挙げる事が出来ません。小遠足と申しましようか、簡単な外出休

育はどちらの園でも毎週のように行われていることと思いますが、春秋の大きな遠足は運動会について幼児に歓迎される最も大きな年中行事であります。

従って遠足を理想的に行うということは保育上極めて大切なことだと考えます。疲労と食べ過ぎとしか残らない一片のお祭さわぎに終ってはならない、幼児の生活の流れの中に遠足でなければ得られない数々の経験をさせたいものと念願しております。ここに拙い経験ではございますが、遠足についての一考案をまとめてみることにいた

しました。

#### 一、遠足前の指導

遠足地の予告 各園の地域性により、或は入園当初の幼児の多い春、集団生活に馴れきった秋とにより、或は四季の変化により、自ら春秋の遠足の教育目標は異なると考えますが、先ず、目標を定め健康な目的地を選んだら、保育者自身が実地踏査を行い、周倒な実行案を作製した上で、大体一週間前位に目的地の予告をいたします。

期日の計算遊び カレンダーを利用したり、或は遠足のためのカレンダーを幼児と共に製作したりして、遠足へ遠足へと湧き立つような幼児の喜びの心に乗って、毎日日数や曜日を数えたり、また自然に数字を学ぶよい機会といたします。

目的地の探究的な遊び 名勝、旧蹟としての由来、或は名産物等と、幼児の既知の事共を発表しあう機会をつくると共に、保育者の適当なヒント指導によって、幼児にふさわしい理解と関心を高めめます。

乗物等行程に関する遊び 目的地までの

順路、乗物の種別駅名途中の主な名勝等共同作業によって、略図遊びを展開いたします。

**持物や費用について** 必要な持物についての相談をもつと共に、必要以外のものを持って行かない約束をいたします。幼児と共に大きなリュックサックを描いて、その中に必要な携帶品を絵画いたり貼絵したりするのも興味ある仕事になります。

**遠足についての案内書発行** 園から発行する保育だよりの中に、遠足の案内欄を設けて、大体一週前から家庭の協力を求めるようにいたします。

その内容は期日、目的地、時程、経費、服装や持物、団体行動についての約束、目的地の概要等であります。

**お母様の参加について** 母親同志の親睦母親の慰安、幼稚園教育の一端を知る機会集団の中の吾が子を観る機会、危険防止等色々の意味に於て親子遠足を出来るだけ実行しています。

**事務的な処理を正確迅速に** 目的地や乗物の交渉、不参加幼児の調査、参加母子の

名簿作り、経費の収支、急救用具の取揃え等保育者自身の準備万端に留意いたします。

## 二、当日の指導

○朝の視診を特に慎重に行い、病気上りや病気の兆のある幼児に過激な疲労を与えることのないよう注意し、尙人員点呼を厳格に行います。

**電車等の乗降や車内での作法** 高い崖、川の淵、車馬の交通の激しい四つ辻、踏切り等の危険に対する幼児同志の注意、店頭や駅頭、工場等では仍らく人々に迷惑をかけるに様に、また遊んだ後やおべんとうの後の清潔整頓等、特に社会性の指導に努めます。

**自然界、人事界の観察** は出来るだけゆつくりとその中に遊ばせることによって、新しい経験知識を築くようにいたします。

**嬉しい興奮** 眠れない程の嬉しい興奮から常よりも早起き、軽食、そして珍らしい風物に雀踊りしている児達故、特に事故の起らないようお母様方に全園児の母として

の協力を願い、またお母様達にも幼児達と同様団体行動の作法を守っていただくようにいたします。

**適度の休憩** 外出には何といても疲労がつきものですから、適度の休憩、給食に留意いたします。

**迷子** 潮干狩には潮の干満、溺水、迷子具取りの仕度や後始末等特に行届いたお世話を必要といたします。

## 三、遠足後の指導

○疲労度の視診に特に注意し病気を誘発することのない様努めます。

○予定と実際の時程の反省や、約束ごとの行否についての反省ごとく等して、よい社会性の成長を図ります。

○見聞した内容を、絵画、製作、歌、リズム遊び等により表現する機会をつくり新しい経験知識の充実を図ります。

## 日記に拾う

京電略図製作(二九、五、七)  
雨に閉ざされた一日、年長組の男児教人の

グループ遊びから展開し、遂に組全体の参加となる。幅三尺長さ五間の模造紙に長々と引かれた省線、国道、京電の平行線、東京と千葉を分つ江戸川ラインを中心にしての略図作り、四十を数える駅名のことと上りと下りの区別や駅名で混雑を極め幼児同志で判断がつきかね行き詰ってしまふ。省線は遠いので宿題とし京電は管野駅に行つて調査を行った。全児分担で駅名を入れた切りぬぎの思い思いの駅が貼られ省電、京電、自動車等上り下り入り乱れて走る壮观な図が出来た。翌朝数人の児が朝お父様を送つて省線駅をしらべたとか、夕方兄妹と共に調らべに行つたとか、宿題を忘れずに正確な答をポケットに、昨日の続きをしようという意図に燃えて登園した姿は実に頼母しかった。小さい児達が驚きの眼を輝かせて指差す駅名を、年長児が声高らかに読んで上げるといふ可愛い風景も幾日となく繰り返された遠足を待つ喜びだった。

### ○てるてる坊主祭り(二九、五、一七)

全園児折りをこめてのてるてる坊主製作

も効なく、一度雨で中止となつた成田遠足だけに、延期によつて絶好の静かな晴天に恵まれたことは非常な喜び、てるてる坊主に對する感謝が一人、庭の南天ならぬヒマラヤ松につるされたてるてる坊主に背伸びしてはほえみ唄う児達に機を得て、てるてる坊主ありがどうの会をする。

砂を固めてちり紙に包装された米屋の栗ようかん、画紙をまるめて鳩を止まらせた鳩笛など、小さい手に作られた数々のおみやげをお供えして、歌やお話の発表会をして遊んだ。

### ○井頭公園共同製作(二八、一〇、二五)

自然的な環境と整つた文化施設の中に遊び思いがけなく大きな収穫、幼児の話題は水族館やロバの馬車、お伽列車等に集約されてきた。感銘の新たなる中にも思い全園児分業にて井頭公園の共同製作にかかる。

松組(海ねずみのプール、お猿の家、うさぎの家) 竹組(孔雀の家、水族館) 梅組(小鳥の家、お伽列車、ロバの馬車) 桃組(小鳥の家、熊の家) 桜(花園) 古箱、ボール紙、木片、粘土、画用紙、ヒゴ、麦稈等を

材料として、一週間の連続作業、凡て立体であること、きれいな仕事、一斉仕事をやめて素朴な幼児の自由創作表現であることを重んじたので、出来上つた井頭公園には、幼児の一人一人が、躍動していた。

一大力作に眼を輝かせた幼児達は、自然に井頭公園内の乗物遊びをはじめ、入場券作り、入場券売り、園内の整理係案内係はてはおみやげ製作、おみやげ売り等と社会的な遊びへ展開発展し、飽くことを知らない有様、記念の撮影を最後に二週間を経て有終の幕を閉じた。

### (日の出幼稚園)

× × × × ×